

2013年の観察記録

野鳥の月別観察日数

(年間総観察日数 308日)

観察日	24	24	27	25	27	26	26	27	26	26	26	24	308
No. 種類 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
1 アオゲラ	2	24	27	21	19	9	4	5	3	4	22	15	155
2 アオサギ					1					1		1	3
3 アオシ				4	6					9			19
4 アカゲラ	24	24	27	24	27	21	7	20	15	22	26	24	261
5 アカハラ					5						4		9
6 アトリ	1	2	2	13									18
7 アマツバメ				1			2						3
8 イカル					9	1		7	2	1			20
9 ウグイス				1	3				1	3			8
10 ウソ	6	7	3										16
11 エゾムシクイ					1				2				3
12 エナガ	19	22	16	13	4	2	1		2	11	16	8	114
13 オオアカゲラ		1		2									3
14 オオタカ	1		2	1				1				1	6
15 オオハクチョウ		1	10	1						1			13
16 オオルリ					5	1	4	5	2				17
17 オナガ					3								3
18 カケス	12	14	1	1					1	5	1	10	45
19 カシラダカ			6	1						1	1		9
20 カッコウ					8	15	1						24
21 カルガモ				2									2
22 カウセミ					2			1					3
23 カワラヒワ	2		21	21	23	25	26	21	1	2	4	5	151
24 キクイタダキ	7	3									1		11
25 キジ					2								2
26 キジバト			19	24	26	26	20	17	24	24	26	6	212
27 キセキレイ				2	2	1			2	1			8
28 キビタキ				1	21	25	26	26	21	10			130
29 クロジ					9								9
30 クロツグミ				6	4	4	1						15
31 コガラ	24	24	27	25	5					2	4		111
32 コゲラ	24	23	23	25	24	19	25	22	21	22	23	17	268
33 コサメビタキ				1	8	3	2		4	1			19
34 コジュウカラ	24	24	27	25	25	3			1	2		4	135
35 コムクドリ				15	26	5							46
36 サメビタキ								1	2				3
37 サンコウチョウ					1	13	1						15
38 サンショウクイ					8	8							16
39 シジュウカラ	24	24	27	25	26	25	25	26	26	26	26	24	304
40 シメ	24	24	27	25	27	6		23	25	21	25	22	249
41 ジョウビタキ	2			1									3
42 シロハラ				1									1
43 スズメ	24	24	27	25	27	26	26	27	13	9	25	23	276
44 セグロセキレイ												1	1
45 センダイムシクイ				1	13	1		1	2				18
46 ツグミ	24	24	12							5	13		78
47 ツツドリ					1								1
48 ツバメ					1								1
49 トビ	5	5	22	16	8	9	6	12	9	8	9	9	118
50 トラツグミ							1						1
51 ノゴマ					2								2
52 ノスリ	1			2	1	11	11	2	6			1	35
53 ハイタカ	9	5	10	8	5		2	1			4	7	51
54 ハクセキレイ				2	4	23	7						36
55 ハシブトガラス	24	24	27	25	27	26	24	27	26	25	26	24	305
56 ハシボソガラス	2		1	6	17	7	1	10			1	2	47
57 ハヤブサ		1										1	2
58 ヒガラ	9	23	27	24	14	8	2			3	11	12	133
59 ヒヨドリ	24	24	27	25	27	24	24	27	26	26	26	24	304
60 ヒレンジャク		1											1
61 ビンズイ					1								1
62 ベニマシコ	3	4										1	8
63 マガン									1	1			2
64 マヒワ											3		3
65 マミチャジナイ					3								3
66 ミヤマホオジロ		1	1										2
67 ムクドリ				1	4	1				4			10
68 メジロ		3		7	15	11	6	7	11	11	5		76
69 モズ	2			3	4					2	2		13
70 ヤブサメ					2		3	1	2				8
71 ヤマガラ	24	24	27	25	27	26	26	27	26	26	26	24	308
72 アオバト					1								1
73 ケアシノスリ				1									1
74 カワウ				2									2
75 タシギ					1								1
76 オオムシクイ					1	1							2
77 チョウゲンボウ										1			1
78 コハクチョウ										1			1
総数	27	27	28	41	52	32	27	24	28	32	25	25	

1年間で観察された野鳥は78種類でした。2012年に観察された野鳥を1種類上回りました。ほぼ1年を通じて観察された野鳥は16種類でした。

1月、断続的に強い寒気団に覆われ、降雪も多く、寒さに途切れがなく、例年にない寒い月でした。ウソ、エナガ、キクイタダキ、カケス、ベニマシコ等が連日のように観察できました。

2月、先月に引き続き寒い日が多く、降雪日が続きました。暖気が入って雨が降ったのは、1日だけでした。下旬には積雪量が70cmに達しました。ウソが群れでやってきて、エドヒガンの芽をすっかり食べてしまいました。ミヤマホオジロも観察されました。11日にはオオアカゲラが現れ、観察記録を更新しました。

3月、春の訪れが早く、雪解けも急速に進み28日に福寿草が開花し、小鳥たちの囀りも多く聞かれるようになりました。冬の間姿を見せなかったキジバトが戻って来ました。ハイタカの狩りが頻繁にあり、小鳥たちは落ち着かない日々を過ごしました。

4月、残雪は例年より早く消えてしまいました。しかし、寒い日が多く、雪のちらつく日もありました。春を実感する日がないまま、4月が終わってしまいました。授乳中のリスのお母さんを見かけるようになり、コムクドリが帰って来ました。日差しに誘われて、越冬していたルリタテハ、スジボソヤマキチョウが飛翔し、カタクリが開花しました。

5月、寒い日が続きました、ゴールデンウィーク中、山では連日吹雪模様でした。この寒さで、南から帰ってきたオオルリ達が足止めされ、盛岡市内やここ滝沢森林公園に集結し、多くの人に目撃されちょっとした騒ぎになりました。また、珍しい鳥達も顔を見せてくれました。ヒレンジャク、ノゴマ、タシギが現れました。

6月、好天が続く、農作物に影響を及ぼすほど少雨でした。梅雨らしい天気になったのは、6月も終わりになってからで、巣立ったばかりの幼鳥を連れた親子ずれを見かけるようになり、サンコウチョウがセンターの周りを飛び回りました。

7月、西は猛暑、東北は梅雨前線が停滞して大雨と低温、7月中の梅雨明けは有りませんでした。4日にオオムラサキの羽化が始まりました。コサメビタキ、オオルリ、キビタキの幼鳥が頻繁に現れるようになり、

8月、長雨が続きました、梅雨明け宣言が出されたのは立秋まじかでした。この森で生まれた幼鳥達が頻繁に顔を出しました。餌をおねだりするシメの親子もよく見かけられました。

9月、秋を深く感じるようになり、天候は目まぐるしく変わり、台風の影響で今までに経験したことのない大雨が2回もあり、大きな災害をもたらしました。上空をマガンの群れが南下し、季節の変わり目を感じました。

10月、13日盛岡気象台は岩手山の初冠雪を発表しました。森林公園の紅葉がピークを迎えたのは、26日頃でした。夏鳥は南へ帰り、冬鳥がやってくる季節を迎えました。

11月、森はすっかり冬枯れ、足元まで日差しが届く明るい森になりました。オオカワラヒワ、アカハラ、ツグミが現れるようになり、

12月、本格的な冬の到来です。13日に大雪がありました、これから3ヶ月、白い大地とモノトーンの雪世界の始まりです。